

ウイルスバスター コーポレートエディション (クライアントの除外設定)

注意

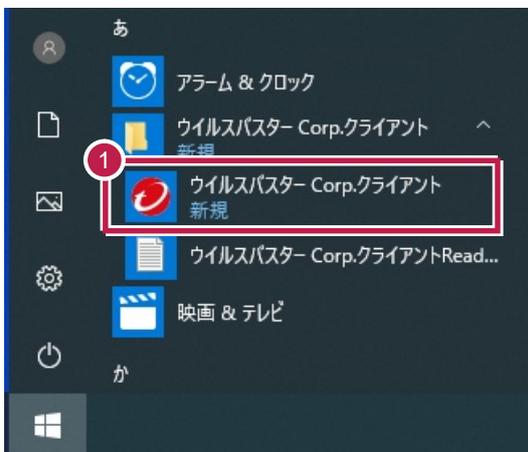
初期設定の状態では、クライアントでの除外設定はできません。

システム管理者の方に、サーバーでの除外設定を依頼してください。設定方法は、コーポレートエディション (サーバー) の手順書を参照してください。

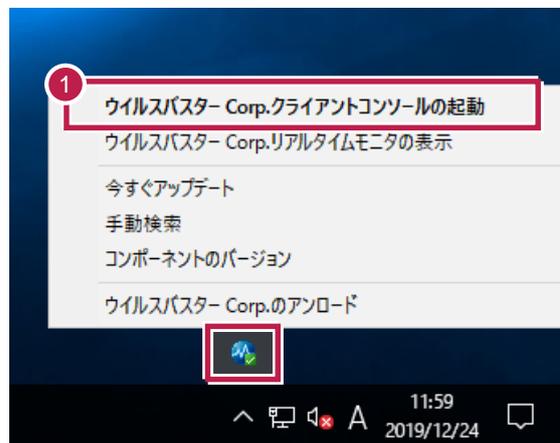
システム管理者の方が、クライアントでの除外設定を許可されている場合に、この手順書に従って設定してください。クライアントで許可されているか、確認が可能です。

- 1 Windowsスタートメニューから [ウイルスバスター-Corp.クライアント] をクリックします。
または、タスクトレイのアイコンを右クリックして、[ウイルスバスター-Corp.クライアントコンソールの起動] をクリックします。

【スタートメニュー】



【タスクトレイ】



- 2 まずは、クライアントで除外設定が可能か確認します。
[設定] をクリックします。



3 [保護] タブがあり、リストに「リアルタイム検索」「手動検索」「予約検索」の項目があるか確認してください。

【リストに項目がある場合】

設定

3

保護 システム

リアルタイム検索
リアルタイム検索
手動検索
予約検索

リアルタイム検索
リアルタイム検索
手動検索
予約検索

● トレンドマイクロの推奨設定で検索されるファ
○ 指定された拡張子を持つファイル (複数項目
区切ってください)

初期設定リストをロード

検出時の処理

OK キャンセル 適用

[保護] タブのリストにある項目は、除外設定可能です。
手順 4 に進んでください。
項目がないものについては、除外設定できません。
すべての項目が除外設定不可の場合は、[保護] タブ
自体が非表示になります。

【リストに項目がない場合】

設定

3

保護 システム

ファイアウォール設定
ファイアウォール設定

ファイアウォールを有効にする
 すべてのネットワークカードでIDS (侵入検出システム) を有効にする
 ファイアウォール違反が検出された場合、通知を表示する

ネットワークカード

IPアドレス	セキュリティレ...	ポリシーの説明
fe80::5553:6943:dc6c:997a	低	オールアクセスポリシ...
172.16.4.169	低	オールアクセスポリシ...

OK キャンセル 適用

[保護] タブのリストに、「リアルタイム検索」「手動検索」「予約検索」
の各項目がない場合は、クライアントでの除外設定ができないため、
システム管理者の方にサーバーでの除外設定を依頼してください。

- 4 [リアルタイム検索]であることを確認して、[検索除外]をクリックして開きます。



- 5 [検索除外を有効にする]がONであることを確認します。

- 6 弊社製品がインストールされているフォルダパス「C:¥FCAPP」を入力します。
(Cは弊社製品のインストールドライブです。お客様の環境に合わせて読み替えてください。)
参照ツリーなどは表示されないの、手入力する必要があります。
指定したフォルダのサブフォルダも除外対象となります。

- 7 [追加] ボタンをクリックします。



- 8 下部のリストに、フォルダーパスが追加されたことを確認します。



- 9 以下のフォルダーが存在する場合は、同様な手順で、それぞれリストに追加してください。
存在しない場合は追加不要です。

- ・32 ビットOS の場合「C:\Program Files ¥Common Files¥Fukui Computer Shared」
- ・64 ビットOS の場合「C:\Program Files (x86)¥Common Files¥Fukui Computer Shared」



- 10 追加が終わったら、[適用] をクリックします。



- 11 [手動検索] [予約検索] にも、それぞれ除外設定があります。
リストを切り替えて、同様な手順で除外設定してください。

- 12 すべて完了したら、[OK] をクリックします。
以上で、終了です。

